

一般社団法人日本地震工学会 拡大正副会長会議 議事録

日時：2012年4月16日（月）16:00～21:00

場所：東京工業大学 緑ヶ丘1号館5階507会議室

出席者：川島会長、運上副会長、若松副会長

鹿嶋理事、佐藤理事、澤本理事、矢部理事、渡壁理事
鳴原事務局長

提出資料

- 拡大正副会長会議資料1 拡大正副会長会議議事録（案）
- 拡大正副会長会議資料2 役員選挙スケジュールについて
- 拡大正副会長会議資料3 後任理事候補者について
- 拡大正副会長会議資料4 来年度の理事会活動について
- 拡大正副会長会議資料5 名誉会員の推挙について
- 拡大正副会長会議資料6 功績賞・功労賞の選考について
- 拡大正副会長会議資料7 感謝状の選考について
- 拡大正副会長会議資料8 公益社団法人化への体制について
- 拡大正副会長会議資料9 第3回社員総会の議事次第について
- 拡大正副会長会議資料10 表彰状（案）について（論文賞、功績賞等）
- 拡大正副会長会議資料11 3学会地震被害調査連絡会規程（案）
- 拡大正副会長会議資料12 16WCEEの日本招致について
- 拡大正副会長会議資料13 新ホームページ意見
- 拡大正副会長会議資料14 今後の広報体制について

議 事

1. 拡大正副会長会議議事録（案）確認

矢部理事から拡大正副会長会議資料1を用いて、4月5日に開催された拡大正副会長会議の議事録案が説明され承認された。

2. 役員選挙のスケジュールについて

佐藤理事から拡大正副会長会議資料2を用いて、平成24年度に実施される会長選挙のスケジュール案が説明された。

平成24年度に実施される会長選挙は、資料拡大正副会長会議資料2に示されたスケジュールで行うことを理事会に提案することになった。さらに、次の点を検討することになった。

- 1) 平成25年度以降の選挙に関しては、定款および関連規程を改定して、次期会長が現

会長の任期2年目には1年間理事会に参加できるようにする。

- 2) 選挙管理委員会と役員候補推薦委員会の委員に関しては、選挙を経験した委員が半数は残るようにする。

3. 後任理事候補者について

澤本理事から拡正副会議-資料3を用いて、後任理事候補が説明された。今までは、慣例として退任する理事が自分の後任理事候補を理事会に推薦してきたが、より広い視点で適切な方を理事に推薦できるようにするために、内規を作成して次のように変更することが提案された。ただし、平成24年度については、この方式による理事の推薦が時間的に厳しいことから、特例的に正・副会長が後任理事候補を推薦し、次回理事会に諮ることになった。

- 1) 准教授時代は、一般に大学の本来業務が忙しく、教授への昇任のために必要な研究成果を出すための時間的制約も大きいことから、教授を中心として理事を推薦する。ただし、これは准教授を理事から排除することを意図したものではなく、個人による条件の違いが大きいため、弾力的に運用するものとする。
- 2) 退任理事は自分の後任だけでなくその他の退任理事の後任理事についても候補を推薦する。これに留任理事が推薦する理事候補と合わせて、理事会において議論の上、後任理事候補を選定する。

4. 来年度の理事会活動について

矢部理事から拡正副会議-資料4を用いて、平成24年度事業計画(案)が説明された。これに対して以下の意見が出された。

- 1) 将来構想委員会では、マスコミとの情報交換を行うことを検討すべきである。
- 2) 3学会地震被害調査連絡会は、連携する学会を3学会から6学会とする働きかけを行うべきである。
- 3) 事業企画委員会は、日本地震工学会主催の企画として以下の企画を検討すべきである。
 - ・ ウィキペディアに地震工学関係者が用語解説を担当できるようにする仕組みを作る
 - ・ スペシャルアドバイザー制度と連携した小中高大学生や社会人に対する地震工学の出前講座
- 4) 国際委員会は、留学生を対象としたシンポジウムの開催を検討して欲しい。たとえば、土木学会のサマーシンポジウムが参考になる。日本で勉強している留学生は多数いるが、国内で開催されるシンポジウムはほとんどが日本語で行われており、留学生が英語で発表できる機会が少ないためである。
- 5) 英語のWebページ作りを促進するため、英語の堪能な非常勤の方を3~6ヶ月ほど雇用して作業を始めてみる。

5. 名誉会員の推挙について

佐藤理事と澤本理事から拡正副会議-資料 5 を用いて、名誉会員の候補となる方の一覧が紹介された。これに対して、次のような意見が出された。

名誉会員の選出は、会長や副会長経験者で、ある程度年齢が行かれた方や業績がある方から選定する。日本地震工学会の設立前に活躍された方々をさかのぼって現在選定することはしない。

従来は何年かごとに名誉会員を選定してきたが、今後は該当者がいれば、毎年でも選定する。

名誉会員となると会費が無料となり会費収入が減るため、名誉会員も会費を払い続けるように規則を改訂すべきである。

以上の方針を確認した後、名誉会員候補として3名の方を選出し、その推薦文の作成者を決めた。

6. 功績賞・功労賞・感謝状の選考について

佐藤理事と澤本理事から拡正副会議-資料 6、7 を用いて、功績賞、功労賞、感謝状を授与する個人及び団体が紹介され、了解された。なお、個人に功績賞を授与する場合には、いくつかの顕著な研究業績があり、学会活動にも大きく貢献した会員の中から、おむね60歳前後で名誉会員に推挙される前の年齢にある会員を選出することとする。

7. 公益社団法人化への体制について

澤本理事から拡正副会議-資料 8 を用いて、公益社団法人化の準備を進める体制について説明があった。

5月24日の総会には、公益社団法人化を議案として出すことになった。

8. 第3回社員総会の議事次第について

澤本理事から拡正副会議-資料 9 を用いて、第3回社員総会の議事次第案が説明された。次のような点が決められた。

- 1) 功績賞を受賞者の講演は時間の制約から割愛し、年次大会の際にそのような場を設ける。
- 2) 授与式は贈呈式、認定式は委嘱式と呼称を変更する。

9. 表彰状（案）について

若松副会長から拡正副会議-資料 10 を用いて、表彰状のサイズや文言について案が示された。次のような点が決められた。

- 1) 表彰状のサイズはA3よりも大きいサイズとする。
- 2) 表彰状中の文言は運上副会長と若松副会長が検討する。

10. 3 学会地震被害調査連絡会規程（案）

運上副会長から拡正副会議-資料 11 を用いて、3 学会地震被害調査連絡会規程（案）が示された。

当面は、3 学会の連携を 6 学会の連携に広めるための呼びかけを行うことになった。

11. 16WCEE の日本招致について

川島会長から拡正副会議-資料 12 を用いて、16WCCEE の日本招致についての意見照会の結果が示された。

平成 24 年度の事業計画の中に、16WCEE の日本招致のための活動を入れることになった。

次のような意見が出された。

- 1) BCP のセッションがあれば、企業から寄付を募ることもできるのではないか。
- 2) 東日本大震災国際シンポジウムの剰余金を、16WCEE の日本招致活動のために活用することを 6 学会に提案する。

12. 新ホームページ意見

鹿嶋理事から拡正副会議-資料 14 を用いて、電子広報委員会の平成 24 年度の体制と Web ページの状況について説明があった。川島会長と運上副会長および若松副会長から拡正副会議-資料 13 を用いて、Web ページを閲覧して気になった点が示された。

Web ページに関しては、拡正副会議-資料 13 の指摘等も踏まえながら、鹿嶋理事の方から業者に修正の指示を出すことになった。予算も限られているので、優先順位が高いものから対応していくことになった。

後任の電子広報委員会の委員として本日の会議で候補にあがった方々に、鹿嶋理事の方から連絡を取るようになった。

記録担当：総務理事 矢部正明

議事録承認

平成 24 年 5 月 10 日

会長 川島 一彦

平成 24 年 5 月 10 日

総務担当理事 矢部 正明